

活躍できる場を目指して

ささえあう町づくり公演会開催

これからの「ささえあう町づくり」

の仕組みに理解を深めてもらおうと、3月12日(日)に総合文化センターパルナスで「第2回 ささえあう町づくり講演会」を開催しました。

オープニングセレモニーでは、ベネ子ちゃんによるダンスが披露されました。第一部では昨年11月に行われた「かたるべしin中里・かたるべしin小泊」で考案された住民自らが活躍できる取り組みの中から、優秀であった3作品

を発表しました。

第2部では、宮城県柴田町地域包括支援センター管理者の伊藤佐和子氏を講師に、「自分のため」発「ささえあう町づくり」着」と題して、宮城県柴田町の取り組みについて記念講演が行われました。

参加者からは「とても参考になった。これからも活動を続けていくことで、もっとたくさんの方が関わるようになってほしい」などの感想が寄せられ、講演会は好評のうちに終了しました。



狙いを定めて

ニチレクボール大会

3月5日(日)、町体育センターでニチレクボール大会が行われ約30人が参加しました。

ニチレクボールは、サークルの中から標的球に向かい、2チームがそれぞれボールを投げ合い、より近づけることで得点を競うゲームです。近くに投げるだけでなく、ボールをぶつけることで動かしこともできるので、作戦も重要になってきます。試合は、小学生の部と一般の部に分かれて行わ



れました。一投一投狙いを定めて転がしますが、思わぬ方向に曲がったり、力を入れすぎて遠くまでいったりと苦戦していました。慣れてくると白熱した試合が展開され、逆転が起きると周りから拍手が聞こえていました。参加した人は「思っていたよりも熱中してしまった。簡単だが奥が深いゲームだった」「楽しかったのでまたやりたい。今度は友達も連れてきたい」と楽しそうに話していました。



中里高校SBP活動日誌

ソーシャル・ビジネス・プロジェクト

3月29日(水) 鰯ヶ沢高等学校で3校合同連携会議が行われました。この日は、愛知県から高浜高校SBPも参加し、順番に自分たちの取り組みを発表していました。とても緊張しましたが、練習の成果を出すことができました。高浜高校SBPでは「国宝からたい焼き たい焼きからレクサス」をキャッチコピーに、お客様が希望する形のキャラクターの焼き型(Sの絆焼き型の製作請負事業を展開しているそうです。Sの絆焼き型は、国宝にもなっている鬼瓦を作る鬼師と最先端の自動車製造技術をもつ会社が協力して製作しています。



その後、鰯ヶ沢町の山村開発センターに移動し、Sの絆焼きの試食・体験を行いました。

まず始めに、高浜高校SBPが説明をしながら実演をしました。思っていたよりも焼けるのが早かったので驚きました。食べてみると、ふわふわとしてとてもおいしかったです。大きさも小さめで何個も食べられると思いました。次に、Sの絆焼きに挑戦しました。最初は、生地量がバラバラだったり、焦がしたりと失敗しましたが、慣れてくるときれいに焼けるようになったので、のしかの粉末やブルーベリージャムを入れ、中泊らしさを出すことも挑戦しました。



今回の会議を通して、私たちも中泊らしさがある型や味を考え、いろいろなどころで中泊町をPRしてみたいと思いました。

